



平成 25 年 10 月 29 日

各 位

上場会社名 FCM株式会社
代表者 代表取締役社長 市居 律雄
(コード番号 5758)
問合せ先責任者 管理部長 丸山 仁
(TEL 06-6975-1324)
親会社 古河電気工業株式会社
代表取締役 柴田 光義
(コード番号 5801)

平成 26 年 3 月 期 第 2 四 半 期 (累 計) 業 績 予 想 と 実 績 値 と の 差 異 に 関 す る お 知 ら せ

平成 25 年 4 月 25 日に公表した平成 26 年 3 月 期 第 2 四 半 期 累 計 期 間 (平 成 25 年 4 月 1 日 ~ 平 成 25 年 9 月 30 日) の 業 績 予 想 と 比 較 し て 、 本 日 公 表 の 実 績 値 に 差 異 が 生 じ ま し た の で 、 下 記 の 通 り お 知 ら せ い た し ま す 。

記

1. 平成 26 年 3 月 期 第 2 四 半 期 (累 計) 業 績 予 想 と 実 績 値 と の 差 異 (平 成 25 年 4 月 1 日 ~ 平 成 25 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,440	0	0	△6	△3.52
実績値(B)	8,580	33	49	18	10.68
増減額(B-A)	140	33	49	24	
増減率(%)	1.6	-	-	-	
(ご参考)前期実績 (平成 25 年 3 月 期 第 2 四 半 期)	7,871	△21	4	△32	△18.79

2. 差異の理由

当第2四半期(累計)におきましては、電子機能材事業及び電気機能線材事業共に市場の成熟化に伴い、ますます企業間競争が激しくなっており、厳しい事業環境が続いております。しかしながら、電子機能材事業においては、パワーエレクトロニクス関連や自動車部品向けで緩やかながらも受注回復の兆しが見えてきております。結果として売上・利益とも業績予想を若干上回ることとなりました。

引き続き業績向上に向けて取り組んでまいります。消費税増税前の駆け込み需要やデフレ対策など市場変動予測も現時点では不確定要素が多く、通期の業績予想については平成 25 年 4 月 25 日に公表した通りとさせていただきます。

以上